

## 八重山語波照間島方言について

金田章宏

### 1. はじめに

波照間島方言の状況について、麻生 2020（2007～2019 年に実施した現地調査の成果をまとめた博論）から以下に引用(抜粋)する。

波照間方言は琉球語派の中の南琉球語群に属する。Pellard (2015) によると、南琉球語群には八重山諸島で話されている広域八重山語支 (Macro-Yaeyama) と宮古語があり、そのうち広域八重山語支には与那国語 (原文では Dunan) と八重山語が属する。波照間方言は八重山語波照間方言である。

波照間方言内部の方言差には 2 つの段階がある。まず、より大きい方言差として挙げられるのは、石垣白保方言と波照間方言の方言差である。石垣白保方言は、18 世紀に波照間島からの移住によって再建された石垣島の白保集落で話されている方言である。波照間方言話者の話では、白保方言と波照間方言はお互いに相互理解が可能である。一方で、アクセント体系や動詞の活用形についても異なる点はいくつか挙げられる。

次に、波照間島内の方言差である。波照間島は 5 つの集落に分かれている。5 つの集落は西から東の順に、富嘉、名石、前、南、北である。パップラルド(2012) の報告から、母音/E/に富嘉とその他の集落で違いがあることが分かっている。その他にも、アクセントの違いが富嘉とその他の集落で異なる可能性がある(麻生・小川 2016)。このような差が見られるものの、相互理解を損なう程度ではないため、コミュニケーションに何ら問題は生じない。

波照間方言の話者人口を正確に示すことは難しい。しかし、筆者(麻生：金田注)の経験から、1940 年代半ば頃までに生まれた方であれば、流暢な波照間方言を話すことが可能である。筆者のこの観察が正しいとすれば、波照間島における波照間方言の話者人口は、およそ 120 人だと推定できる。ただし、波照間島以外にも石垣島や本島などに移り住んでいる方もいるため、実際の波照間方言話者は 120 人よりも多いことが見込まれる。

40～60 歳代の若い人々は、波照間方言を聞き理解することはできるものの、話すことは難しいようである。さらにそれよりも若い世代は波照間方言をほとんど理解することはできない。(pp. 8-13)

▽本稿および調査票の表記について

・母音の無声化を！でしめす。また、アクセントとイントネーションを区別せずに、上昇を [で、下降を]でしめす。

e:ru] p!itu mo:[nu. あんな人いない。

・二重母音を<>でしめす。

ke:]ru p!itu mo:[nu]d<o[a>. こんな人はいないよ。

・撥音を N で、促音を q でしめす。促音は半拍程度であらわれることが多いが、それを区別しない。

maN]taba[ribagja buq]taN. さっきまでは いた。

・琉球諸語にみられる強調辞 du は撥音 N のあとでは du で、母音のあとでは ru であらわれる。共通語訳のほうでは機械的にゾで対応させる。

#### ▽話者について

この資料に使用したデータの話者は、南集落の阿利盛八（アリ セイハチ）氏(1934.1.20 生 M)、北集落の田盛吉（タモリ ヨシ）(1939.9.10 生 F)、それに富嘉集落の RS 氏である。

## 2. 波照間島方言のいくつかの特徴について

担当者はこれまで数回にわたって波照間島において現地調査をおこなった。またそのまゝに、石垣市に在住の波照間島出身の方から予備調査もおこなった。今回はそれらの調査の範囲のデータをもとに整理する。データは波照間島の南集落の話者を中心に北集落と富嘉集落も使用したが、今回の調査票資料には石垣市在住の方の分はふくまない。富嘉集落は西に少しはなれているが、南集落と北集落は隣接していて、今回の話者の家も徒歩 1 分程度の距離である。

調査票自体は動詞の活用をみるものであるが、調査の結果、波照間島方言に特徴的とみられるいくつかの現象が確認された。人名詞の複数形で、固有名詞(人名)では男性名と女性名で複数形がことなることや、存在動詞の否定形が、形態的には否定形ではなく別の語彙であること、「ここ」を意味する指示語に二種類あることなどである。また、名詞の格形式のうち、共通語の与格に相当する格語形がかなりあることも明らかになった。いずれもまだじゅうぶんなデータがあるわけではなく、それぞれの課題の記述を目的とした調査票でもなかったもので、今回は中間報告として概略の記述にとどめ、今後の調査で修正をくりかえしながら体系的な記述をめざしたい。

### 2. 1. 人名詞の複数形

波照間島方言の人名詞には複数形が多くみられるので表でしめす。名詞の種類と複数接辞との相性のようなものがみられるので、これについては再度検討したい。複数接辞には次のようなものがある。(表は p.146~147 にしめす)

~Nda:, ~(i)ma:, ~(i)maNda:, ~(i)maima:/(i)ma:ma:, ~NdaNda, ~daci, ~daciNda:, ~N]zi:, ~N]ziN[da:

興味深いのは人固有名詞（人名）の複数形が男の名前と女の名前でことなることである。はじめに単数の例をあげる。強調辞 *du* のまえの *N* は主格助辞である。

taro:N]du [kja]ru. 太郎がゾ来た。  
 sju:i]ciNdu [kja]ru. シュウイチがゾ来た。  
 jui]Ndu [kja]ru. ユイがゾ来た。  
 [kajoNdu ku:N. カヨがゾ来る。

これが複数形になるとつぎのように語形がことなる。男性名に使用される接辞は *Nda* とその重複形の *NdaNda*、女性名に使用される接辞は *ma* とそれを核とする *maima*、*maNda* で、明確に相補分布している。その複数のなかに異性がまざっていても同性だけでもおなじである。これらの接辞は、語彙による相性は別にして、このような人名以外ではどれも男女にかかわらず使用されている。なお、*daci*(*Nda*:)は男性名にも女性名にも使用される。

taro:N]daNdu [kja]ru. 太郎たちがゾ来た。 *Nda*  
sju:i]ciNdaNdaNdu [kja]ru. シュウイチたちがゾ来た。 *NdaNda*  
jui]maNdu [kja]ru. ユイたちがゾ来た。 *ma*  
kajo]maimaNdu [ku:N. カヨたちがゾ来る。 *maima*  
ke:]komaNdaNdu [kja]ru. けいこたちがゾ来た。 *maNda*

また、*Nzi*(:)をふくむ接辞は、子どもの *uqtama* と、これに二人称代名詞が融合した *daqtama* としか組み合わさらず、我が子の *baqtama* は *Nda* としか組み合わさらないようである。

## 2. 2. 存在、非存在

人に代表される生き物の存在をあらわすのは、ほかの八重山語諸方言と同様フリ系の語彙である。一方で、非存在はフリ系の語彙の否定形ではない *mo:nu* である。宮古語大神方言には「見ない。」と同音の *mi:N* (いない。)があるが、これと関わるか。

はじめに存在の例をあげる。

ici]N mo:[ru] bo:. いつもここにゾいる。  
 ta]N[da]raNdu bo:. だれかがゾいる。  
 mana] za[ru bu]ba? いまどこにゾいる？  
 maju [u:]gara buNba? ネコ、何匹ゾいる？  
 maN]taba[ri]bagja buq]taN. さっきまではいた。  
 manabi daidokorona buta amaN[du] mbusja p!aci. さっき台所にいた姉さんがゾ煮たと思うよ。

波照間島方言の名詞複数形

	Nda:	(i)ma:	(i)maNda:	(i)maima:/ (i)ma:ma:
私包含	(単数 <u>ba:/banu</u> ) ×	be:ma:	bemaNda	bemaima
私排除	(単数 <u>ba:/banu</u> ) ×	baima:	baimaNda:	baima:ma:
あなた	(単数 <u>da:</u> ) ×	daima:	daimaNda:	daimaima:
父	<u>ija</u> Nda:	ijaima:	ijaimaNda:	×
母	<u>ab&lt;oa&gt;</u> Nda:	aboima:	aboimaNda:	×
祖父	<u>buja</u> Nda:	bujaima:	bujaimaNda:	×
祖母	<u>pa</u> Nda:	paima:	paimaNda:	×
おじ	<u>buz</u> aNda:	buzama:	buzamaNda:	buzaima:ma:
おば	<u>buba</u> Nda:/buwaNda:	buwaima:	bubamaNda:	buwaima:ma:
男	<u>bidumu</u> Nda:/biduNda:	bidumuma:	bidumumaNda:	×
女	<u>midumu</u> Nda:/miduNda:	midumuma:	mudumumaNda:	midumumaima:
子ども	×	×	<u>uqtama</u> (i)maNda:	×
我が子	<u>baqtama</u> Nda:	×	×	×
汝が子	<u>daqtama</u> Nda:	daqtamaima:	×	×
人	<u>plitu</u> Nda:	plituma:	×	×
秀一	<u>taro:</u> Nda	×	×	×
ユイ	×	<u>ju</u> ima	<u>ke:koma</u> Nda	juimaima

私包含：一人称複数包含形 私排除：一人称複数除外形

我が子：私の子ども 汝が子：あなたの子ども

太字下線は単数形。×は語形ナシ。<oa>は二重母音。高低の符号は省略。

	daci	daciNda:	NdaNda	Nzi:	NziNda:
私包含	×	×	×	×	×
私排除	×	×	×	×	×
あなた	×	×	×	×	×
父	ijadaci	ijadaciNda:	×	×	×
母	ab<oa>daci	ab<oa>daciNda:	×	×	×
祖父	bujadaci	bujadaciNda:	×	×	×
祖母	pa:daci	pa:daciNda:	×	×	×
おじ	buzadaci	buzadaciNda:	buzaNdaNda	×	×
おば	bubadaci	bubadaciNda:	bubaNdaNda	×	×
男	bidumudaci	bidumudaciNda:	bidumuNdaNda	×	×
女	midumudaci	midumudaciNda:	midumuNdaNda	×	×
子ども	uqtamadaci	uqtamadaciNda:	uqtamaNdaNda	uqtamaNzi:	uqtamaNziNda
我が子	×	×	×	×	×
汝が子	daqtamadaci	daqtamadaciNda:	×	daqtamaNzi:	daqtamaNzianda:
人	p!itudaci	×	×	×	×
秀一	taro:daci	taro:daciNda:	<u>sju:ici</u> NdaNda	×	×
ユイ	juidaci	juidaciNda:	×	×	×

以下は非存在の例である。

taN] mo:[nu. だれもいない。  
 e:ru] plitu mo:[nu. あんな人はいない。  
 ke:]ru plitu mo:[nu]d<o[a>. こんな人はいないよ。  
 ke: mu]nu mi[ru pl]itu mo:[nu. こんなもの見る人いない。  
 k!uri mi[rja pl]itu mo:[nu. これ見た人いない。  
 ke:] munu nu[mu pl]itu mo:[nu. こんなもの飲む人はいない。  
 k!uri nu[mjaru pl]itu mo:[nu. これを飲んだ人はいない。  
 naga ku:] plitu mo:[nu. ここに来る人はいない。  
 naga kja:] plitu mo:[nu. ここに来た人はいない。  
 k!uri su: plitu] mo:[nu. これをする人はいない。  
 k!uri sja:] plit<u[a>] mo:[nu. これをした人はいない。  
 astua] hina mono[ju]gara [ku]najo[:. あさっては家にいないから来るな。

終止形 mo:[nu 以外の例 mono[ju]gara(いないから)が1例(さいごの例)ある。動詞否定形の kunui]gara(来ないから)と語形がにているが、ほかの否定形 ha[nuN]gara(食べないから)や mbusaN]gara(煮ないから)と比較するとおなじようにはみえない。むしろ動詞肯定形の bu[ju]gara(いるから)や nu[mu]jagara(飲むから)に近いだろう。もしそうだとすると、この mono[ju]gara は意味的には非存在で否定だが、語形としては肯定形とみるべきか、ということになるが、終止形が～nu(mo:[nu)で、動詞否定終止形(ha)nu 食べない、kunu 来ない)とおなじである点が問題としてのこる。動詞の例をあげておく。

aqca:] namasu ha[nuN]gara ke: [k!una:. あしたは刺身を食べないから買ってくるな。  
 kju:ja uwanu ni]ku[ja mbusaN]gara [ke]: [kuna. 今日は豚肉は煮ないから、買って来るな。  
 buza[maN kunui]gara bu[baN kunu. おじさんが来ないから、おばさんも来ない。  
 hina] bu[ju]gara [kiba. 家にいるから来い。  
 ba:] nu[mu]jagara [na: s!iki. 私は飲むからそこに置け。  
 ututuNdu ju]: [mbusibaN [ta:]N ha]nu. 弟が魚を煮ても、だれも食べない。  
 pliteci] Ngugara [kunu. 畑に行くから来ない。

なお、ものの存在は aN、非存在は ne:nu で、周囲の諸方言とおなじタイプである。

[na:N na:N aN. ここにもここにもある。  
 naN ari hanaN aN]d<o[a>. ここもあるし、ここもある。  
 hana] gusaNdu [aru. そこに杖がゾある。

sa: ma:bi a[na:ʔ > N]: [aN. お茶まだある? > うん、ある。  
 kjuja N[go:]bi [ataN. きょうはたくさんあった。  
 me:[na na:] gusaNdu [aqtaru. まえはここに杖がゾあった。  
 snua [na:] ko:[si aqta]na:ʔ > N]: [aqtaN. きのはここにお菓子があった? > うん、あった。  
 snua [na:]N nu:N[du aqtara:ʔ? きのはここになにがあったの?  
 [na: aqtaska. ここにあったけど。

nuN] ne:[nu. なにもない。  
 na:] gu[saN] ne:[nu. そこには杖がない。  
 snu]ja [ho:] munu ne[N]ta:N. きのは食べるものがなかった。

### 2. 3. 「ここ」の語彙

場所をあらわす指示代名詞は、基本的には na (コ系～ソ系) と hana (ソ系～ア系) の 2 系列であるが、コ系にはほかに mo(:) もみられる。西表祖納方言の場所をあらわす指示代名詞にはおおよそコソアに対応する kuma、uma、kama があって、さらにこれらとは別に 2 度目以降の同一場所の指示 (英語の it に類似) に使用される ma があるが、この方言の mo(:) はそれとは明らかに意味がことなる。

基本的に使用されるのは na(:) である。

na:Ndu] ma:[si. ここがゾいい。  
 na:] aoga siba. ここを青にしろ。  
 na: [aN. ここにある。  
 na[ga] biriba:. ここに座れ。

おなじ意味で mo(:) も使用される。

mo:Ndu] aga[rja]ru. ここがゾ明るい。N 格 (主格)  
 ici]N mo:[ru] bo:. いつもここにゾいる。φ 格  
 eN[n<iu>] mata [moga ki as]pa:. 来年またここに来て遊ぼう。ga 格  
 eN[n<iu>] mata [moga ko:. 来年またここに来よう。ga 格

### 3. 与格相当の語形について

これまでの数回にわたる調査から、名詞の格形式のうち、共通語の与格に相当する語形が複数あることがわかった。まだじゅうぶんなデータがあるわけではなく、格形式の意味記述

を目的とした調査票でもなかったのが概略にとどまるが、現段階で整理したものを提示したい。今後の調査で格の体系的な記述をめざす。

### 3. 1. 格形式別の整理

#### 3. 1. 1 φ格（ハダカ格）

この方言のφ格は、主として共通語の対格＝ヲ格に対応する直接補語に使用されるほか、一部の従属節の主語にも使用されるが、ここでは与格的な間接補語を中心とする用法について整理する。

この格形式は存在の場所、移動先、結果の意味で使用される。動作のおこなわれる場所の例もみられたが、この意味は基本的には **nagi** 格があらわす。

#### ▽存在の場所

人やものの存在する場所をあらわす。存在の場所がφ格であらわれるのは、これまでの例では指示代名詞のみである。普通名詞ではほかの格語形（**na** 格）をとっているのが、相補分布の可能性はある。

・人の存在の場所

**na:** bu]ba. ここにいろ。

**na:]** burijo[:. ここにいてくれ。いろ。

**na:]** ori ta[bo]rijo:. ここにいてくださいね。敬語

da [**na**] bu[re]ri. あなた、ここにいろ。

da [**na** ori] jo:. あなた、ここにいなさいね。敬語

da [**na** ori tabori. あなた、ここにいてください。敬語

ici]N **mo:**[ru] bo:. いつもここにづいろ。

mana] **za**[ru bu]ba? いまどこにづいろ？

指示語の空間的な直接指示の連体的な用法では「ここにいろ」で「この」の意味をあらわすことがある。つぎのはじめの例は **na]buq[tama** のように一語化した発音もきかれる。

**na] bu:** uq[tama この子ども、ここにいろ子ども

**na: bu:]** p]lituNda: この人たち、ここにいろ人たち

おなじく直接指示では「ここにいて」で「ここで」の意味をあらわすことがある。

**na:] buqci** kasmaru. ここで売っている。ここにいて。

**na:] buq[ci]** as]ipibaN mi[sjaN]d<o[a>. ここで遊んでもいいよ。ここにいて。

na:] buriq[ci] sigutu/skama si:/siba. ここで仕事をしろ。ここにいて。

直接指示では「あそこにいる」で「あの」の意味をあらわすことがある。はじめの例は hana]buq[tama のように一語化した発音もきかれる。

hana bu:] uq[tama あの子ども、あそこにいる子ども

hana o p!itu]ja nu:[ru] si[oq]ka [ja:ʔ あの人なにをズしていらっしやるかねえ？

ha:/hana bu:] p!ituNda: あの人たち

ha:/hana o:ru] p!ituNda: あの方たち 敬語

直接指示では「あそこにおいて」で「あそこで」の意味をあらわすことがある。

hana buqci] mi[rja] p!it<ua> taqka[ja]:ʔ あそこで見ている人はだれかな？

hana] buqci kasmabi[rjaru. あそこで売っている。

以上のような例では、存在の場所を示す指示語と存在動詞が意味的に一語化して、存在動詞の連体形では名詞の連体格的に、中止形ではおなじく連用格的に機能しているとみるべきである。こうした形式動詞化の現象は、具体性がなく指定性のみの指示語とたんなる存在のみをあらわす存在動詞だからこそおこったものだろう。同様の現象がつぎの、ものの存在の場所にもみられる。

・ものの存在の場所

[na: p!ite:Ndu aro:.. ここに畑がゾある。

[na:N na:N aN. ここにもここにもある。

naN ari hanaN aN]d<o[a>. ここにもあるし、ここにもある。

na:] nuNdu [a ba]:ʔ ここになにがゾあるの？

na: aqta mu]n<ua> naN[gas]taN. ここにあったものは捨てた。

[na: aqtaska. ここにあったけど。

[manab<ia> na: aqtaN. さっきはここにあった。

snua [na:] ko:[si aqta]na:ʔ > N]: [aqtaN. きのうはここにお菓子があった？ > うん、あった。

me:[na na:] gusaNdu [aqtaru. まえはここに杖がゾあった。

na:] gu[saN] ne:[nu. そこには杖がない。

hana mi]zut!amariNdu [aru. ここに水たまりがゾある。泉がある。

hana] gusaNdu [aru. そこに杖がゾある。

hana] nu:N[du aba]:? そこになにがゾあるの？

hana a:] munu muq[c!i ku:. あそこにあるものを持ってこい。hanamunu にきこえる。

うえのさいごの例のように、指示語の空間的な直接指示の用法では「あそこにある」で「あの」の意味をあらわすことがある。一時的な存在ではない「木」でも使用されていて、「いる」と同様、存在動詞の形式動詞化の傾向があらわれている。

hana a:] munu あれ。あそこにあるもの。

hana a]ru [simuci あの本。あそこにある本。

hana a]ru [t!uki あの時計。あそこにある時計。

hana a]ru [ki あの木。あそこにある木。

#### ▽移動先

移動先の例はすべて指示代名詞で、この格での具体名詞の使用については未確認である。

ba:] nu[mu]jagara [na: s!iki. 私(は)飲むからそこに置け。

[hana us!ikiba. あそこに置け。

#### ▽結果

結果の意味のなかでも、これらの例は具体的な意味のない「なる」との組み合わせである。具体的な意味の動詞との組み合わせについては未確認。結果の意味でも「～にする」のほうでは ga 格があらわれる。

disi na[ri] jo. 友だちになれよ。

ju[ru] naqtara [ta:]N kunaki [simaqtaru. 夜になったら誰も来ないから、(店を)閉めた。

#### ▽動作のおこなわれる場所

この例も代名詞の例で、かつ存在的な継続相の用法である。具体的な場所名詞のばあいは nagi 格になる。

hana] numibi[rja] muna: ta[:]ja? あそこで飲んでいるのはだれ？

### 3. 1. 2 na 格

この格形式は存在の場所、移動先、時間の意味で使用される。動作のおこなわれる場所の例もみられたが、この意味は基本的には nagi 格があらわす。

## ▽存在の場所

存在の場所が具体的な場所名詞のばあい、na 格が使用される。

- ・人の存在の場所

astua] hina mono[ju]gara [ku]najo[:. あさっては家にいないから、来るなよ。

hina] bu[ju]gara [kiba. 家にいるから来い。

manabi daidokorona buta amaN[du] mbusja p!aci さっき台所にいた姉さんがゾ煮ただろう。煮たはずよ。

aqca] hi[na bu]na? > buNd<o[a>. あした家にいる? >いるよ。

unu u[tama:] gakuci NgaNsku[ci] hi[naru] bu. あの子は学校に来ないで、家にゾいる。

- ・ものの存在の場所

re:zo:ko]na [uwanu niku]N [aruNska] neq[ci]ru [mbusana]ba:? 冷蔵庫に豚肉があるのに何故ゾ煮ないの?

uwanu ni]kuja [re:zo:]ko]na [aNsuka] ne:[ci]ru [uwanu] niku[ja mbusaNtara? 豚肉が冷蔵庫にあるけど、何故ゾ豚肉を煮なかったの?

nabina aqta [s!ipuriNja] ta:Ndu mbusjata[ra]:? 鍋にあったトウガンは誰が煮たの?

## ▽移動先

na 格のものの移動先の例が 1 例だけみられた。移動先に基本的なのは場所名詞では ci 格、代名詞では ga 格である。

k!uriq]tu [k!uri]nu ftabisi]na s!ikiba. これとこれの間に置け。

## ▽時間

時間の例はこれまでのところ用例全体でこの 1 例のみである。

t!akuja mbusu] me:[na] ma:su[si] mumis!ita mbuscja ja[ra]jarasi naruN. タコは煮る前に塩で揉んでから煮ると柔らかくなる。

## ▽動作のおこなわれる場所

基本的に存在の場所をあらわす na 格でのこの用法は 1 例のみで、くみあわさる動詞も存在的な継続相になっている。この意味をあらわすのは、基本的には与格相当の格形式ではなく、共通語のデ格に対応する nagi 格である。

hi[na skanahja]ru majuNdu ju:] hja[ru. 家で飼っているネコがゾ魚を食べた。

参考までにゲ格に対応する nagi 格の例をあげておく。

fni ku: kami] minatu[nagi] maci[ba:. 船が来るまで港で待て。

inanagi] u[i kjaN. 海で泳いできた。

### 3. 1. 3 ga 格

この格形式は移動先のほかに相手、使役文の動作の主体、結果の意味で使用される。

▽人やものの移動先

・人の移動先

[naga ku ba:. ここに来い。

[naga ku:. ここに来い。

naga k!ucja] бага[ruN. ここに来ればわかる。

naga kibaN] bagara[nu. ここに来てもわからない。

naga kjabal] bagaruq[ta] munu. ここに来たらわかったのに。

naga kunaba] bagaruq[ta] munu. ここに来なければわかったのに。

naga ku:] p!itu mo:[nu. ここに来る人はいない。

naga kja:] p!itu mo:[nu. ここに来た人はいない。

da: na[ga] biri. あなた、ここに座れ。

na[ga] biri ba:. ここに座れ。

haga] Ngi. あそこに行け。

haga Ngi] ba:. あっちに行け。

eN[n<iu>] mata [muga ki as]pa:. 来年またここに来て遊ぼう。来年も二人で一緒に来よう。

eN[n<iu>] mata [muga ko:. 来年またここに来よう。来年も二人で一緒に来よう。

daNta[ga Ngi]bo[haNska Nga]runu. あなたのところに行きたいけど行けない。

da: za[ga Ngi] ba:? あなたはどこに行くのか?

・ものの移動先

[naga s!iki. ここに置け。

naga] irja[ru. ここに入れた。

naga] ira[N]do[:. ここに入っているよ。

指示代名詞での使用が基本的なようで、具体名詞の例は少ない。具体名詞では ci 格が基本である。

gakuga] Ngi. 学校に行け。(gak!luci も可)

t!abiga] Ngjatara [muqsaqtaN. 旅行に行ったらおもしろかった。

うえの2例目は移動目的のようだが、動詞の目的形であればこれと別の～Nの形をとる。  
(3. 1. 9参照)

#### ▽相手

代名詞にも具体名詞にも使用される。代名詞の相手の用法にみられる mu 格との関係は不明である。

daga] hiru]N. あなたにあげる。

unu p!ituga] [eni]ba. あの人に言え。[ni]

jatafcinu]ju: [hanu] uq[tamaga: kosi] hi:na:. ヨモギ雑炊を食べない子どもには菓子をやるな。

#### ▽使役文の動作の主体

使役文の動作の主体は、共通語では他動詞で二格をとり、自動詞では二格とともにヲ格でもあらわれる。この方言ではこれを区別して、他動詞では与格相当の ga 格、自動詞では対格に相当する ϕ 格(さいごの2例)であらわれている。これも相補分布である可能性がある。

taro:]ga misis[maqtaru. 太郎に見させた。

taro:]ga h!aka[smaqtaru. 太郎に書かせた。

baN[du ta]ro:ga h!aka[hjaru. 私がゾ太郎に書かせている。

u[tutuga] skuras[maru. 弟に作らせた。

baN[du ututuga] buja ugasmaru. 私がゾ弟にじいさんを起こさせた。

taro:] jarahja[taru. 太郎を行かせた。ϕ 対格

taro:] p!aras[maqtaru. 太郎を走らせた。ϕ 対格

#### ▽結果

結果の用法のうち、具体的な意味のない動詞「する」との組み合わせに使用される。具体的な意味の動詞との組み合わせについては未確認。

na:] aoga siba. ここを青にしろ。

na:] agaga siba. ここを赤にしろ。

### 3. 1. 4 ci 格

この格形式はもっぱら具体的な人の移動先をあらわすようである。具体的な移動先にはほかの格形式も使用されるが、それらとの張り合い関係は未確認である。

pliteci] Ngi. 畑に行け。

ba: [plite:ci N]go:. 私は畑に行く。

unu u[tama:] gakuci NgaNsku[ci] hi[naru] bu. あの子は学校に来ないで、家にづいる。

kju gakuci NgiN[can]a dusinu ja[ci] Ngjaqtaru. 学校に行きながら、友だちの家に行ってみた。

kju gakuci [kiNcan]a dusinu ja[ci] Ngjaqtaru. 学校に来ながら、友だちの家に行ってみた。

gak!uci]/gakuga] Ngi. 学校に行け。

buifa]:[: s!imaci ki:s!i]taki sigutu t!umiN[te]nua. /t!umiNcju. いとこは島に来てから、仕事を探そうだよ。

dusi so:ri gakuci [kuba]:. 友だちを連れて学校に来い。

s!imaci kuna]c]ara [s!imanu] zo:[tunu] t!ukurua bagara[N]d<uwa>:. 島に来なければ、島のいいところはわからない。

s!imaci kjaN]ska ami[ga]gi [ffis!i]ta[ma]:. 島に来たのに雨ばかり降っていた。

kjo:a isas!imaqci] heN N[ga]:. きょうは石垣に食べに行こう。he:N[ga]:に聞こえる。

sjama:] plismaru mu[nu] he:s!ita: [pliteci Ngja]ru. 兄は昼を食べてから畑に行つた。

inaci N]gi u[i] kose:. 海に行つて泳いで行こう。

### 3. 1. 5 mu 格

動作の相手をあらわす。この意味は ga 格にもみられる。mu 格にあらわれるのはこれまでのところ人称代名詞のみだが、ga 格には普通名詞もみられる。

da]mu mu[ci kja]N. あなたに持つてきた。

ba[mu hi:]na:. 私にくれるか。

### 3. 1. 6 gaci 格

人の移動先をあらわす。これは ga 格と ci 格による複合格のようにみえる。この用法に gaci 格があらわれるのは、これまでのところ名詞が hi(家)のばあいのみである。

da higa[ci N]gi ma[:. 家に帰れ。よその子に、自分の家に。

ba hi]gaci [ku] jo[:. 私の家に来い。

ba higaci [ori tabori. 私の家にいらっしゃってください。敬語

### 3. 1. 7 naga 格

移動先をあらわす。用例はこのものの移動先の1例のみである。

kju: mbusanu uwanu ni]kuja [re:zo:konaga [i]ra[s!iki. 今日煮ない豚肉は冷蔵庫に入れておけ。

### 3. 1. 8 (N)nja 格

受動文の動作の主体をあらわす。用例がまだ少ないが、これまでの用例では、動作の主体が人名詞のばあいでは～Nnja、ネコのような動物では～n<ia>(～nja)であらわれていて、相補分布の可能性はある。これらの語形が単純な格語形なのか、格語形になにかが融合したものであるかは確認する必要があるだろう。

daNnja bami]ga[ra]taN. あなたにたたかれた。

daN]njaru [bami]gaa[ra]taro:. あなたにづたたかれた。

daNnja bami]gara [kjaN. あなたになぐられてきた。

sjamaNn<ia>] k!u!ra[ra]qta]ru. 兄さんになぐられた。

sjamaNn<ia>] kura[ra]ru/k!u!ra[ra]qta]ru/k!u!ra[ra]N. 兄さんになぐられた。

majun<ia>] [h!akazurara]wa. ネコに引っかかれた。

majun<ia>] [hara]N/[hara]ru/[hara]qta]ru. ネコに食べられた。

### 3. 1. 9 動詞の目的形 ～N

名詞の格語形ではないが、共通語では二格と同音で、いくつかの方言ではへ格と同音であられるので、参考までにとりあげておく。この方言の動詞の目的形は中止形の～Nの形をとる。

nu[miN] kuba:. 飲みに來い。

heN [kuba:. 食べに來い。

mi[riN] kuba:. 見に來い。

動詞目的形とくみあわさる動詞が「行く NguN」のばあい、目的形に強調辞 du がついたばあい（1例目）やていねいな発音（2例目）以外では目的形のNと動詞語頭音のNが1モーラ化して、中止形のみのようにきこえる。

ju: ho[siNdu Ngo]:. 魚を釣りに行こう。

sigutu siN Nga]:. 仕事をしに行こう。  
 ma:zi nu[mi] Nga:. いっしょに飲みに行こう。  
 uri mi[ri] N]ga:. あれを見に行こう。  
 h!unabu] buri [N]guN. シーカーサーを折りに行く。実を取りに行く。  
 ma:zi] u[i N]gase:. いっしょに泳ぎに行こう。  
 ju: ho[si Ngu]na:? 魚を釣りに行くのか？

### 3. 2. 意味別の整理

与格相当の格語形ごとに意味用法を概観したが、いくつかの格語形では複数の意味用法がみられた。ここではそれらを意味のほうから整理しなおす。

#### ▽存在の場所（間接補語）

人やものの存在の場所については、代名詞の  $\phi$  格と具体的な場所名詞の na 格とで明確な使い分けがみられ、相補分布となっている。

na: bu]ba. ここにいる。代名詞  $\phi$  格  
hina] bu[ju]gara [kiba. 家にいるから来い。場所名詞 na 格

#### ▽移動先（間接補語）

移動先の意味をあらわす形式はこれまでのところ 6 語形が確認されたが、中心的なものには代名詞の ga 格と場所名詞の ci 格である。これも基本的には相補分布となっている。また、代名詞の ga 格は人の移動にもものの移動にもあらわれるが、場所名詞の ci 格は人の移動にしかあらわれていない。

このほか、人の移動先には gaci 格の場所名詞が、ものの移動先には  $\phi$  格の代名詞、na 格、naga 格の場所名詞があらわれている。

[naga ku:. ここに来い。代名詞 ga 格 人の移動先  
 [naga s!iki. ここに置け。代名詞 ga 格 ものの移動先  
 p!iteci] Ngi. 畑に行け。場所名詞 ci 格 人の移動先  
 ba hi]gaci [ku] jo[:. 私の家に来い。場所名詞 gaci 格 人の移動先  
 [hana us!ikiba. あそこに置け。代名詞  $\phi$  格 ものの移動先  
 k!uriq]tu [k!uri]nu ftabisi[na s!ikiba. これとこれの間に置け。場所名詞 na 格 ものの移動先  
 kju: mbusanu uwanu ni]kuja [re:zo:ko]naga [i]ra[s!iki. 今日煮ない豚肉は冷蔵庫に入れておけ。  
 場所名詞 naga 格 ものの移動先

## ▽相手（間接補語）

相手をあらわすのは **ga** 格と **mu** 格である。用例は少ないが、どちらも一方向の動作で、相互動作の相手は未確認である。**ga** 格は代名詞にも人名詞にも使用されるようだが、**mu** 格はこれまでのところ代名詞の例のみである。

**daga** hiru]N. あなたにあげる。

jatafcinu]ju: [hanu] **uq[tamaga: kosi]** hi:na:. ヨモギ雑炊を食べない子どもには菓子をやるな。

**da]mu** mu[ci kja]N. あなたに持ってきた。

## ▽結果（修飾語的？複合述語？）

結果の意味に使用されるのは  $\phi$  格と **ga** 格である。これまでに確認されたものはいずれも実質的な意味のない「なる」と「する」との組み合わせで結果をあらわすわずかな例である。 $\phi$  格は「なる」と、**ga** 格は「する」との組み合わせに使用されていて、相補分布の可能性がある。

**disi** na[ri] jo. 友だちになれよ。

na:] **aoga** siba. ここを青にしろ。

## ▽時間 na（状況語）

時間をあらわす例は 1 例のみで、**na** 格が使用されている。

t!akuja mbusu] **me:[na]** ma:su[si] mumis!ita mbuscja ja[ra]jarasi naruN. タコは煮る前に塩で揉んでから煮ると柔らかくなる。

## ▽動作のおこなわれる場所（状況語）

この意味に基本的に使用されるのは与格相当の諸形式ではなく、共通語のデ格に対応する **nagi** 格であるが、与格相当の格形式にもわずかながらこの用法がみられる。ただしその場合でも、格形式とくみあわさる動詞はこれまでのところ継続相のみなので、動作の「おこなわれる」場所ではなく、状態性の動作の「存在する」場所、とみるべきか。

fni ku: kami] **minatu[nagi]** maci[ba:. 船が来るまで港で待て。 **nagi** 格

**hana]** numibi[rja] muna: ta[:]ja? あそこで飲んでいるのはだれ？  $\phi$  格

**hi[na]** skanahja]ru majuNdu ju:] hja[ru. 家で飼っているネコがゾ魚を食べた。 **na** 格

## ▽受動文の動作の主体（間接補語）

用例はまだ少ないが、受動文の動作の主体が人名詞では～Nnja、ネコなどの動物では～

n<ia>(nja)であらわれていて、相補分布の可能性はある。これらの語形が単純な格語形なのか、格語形になにかが融合したものであるかは確認する必要があるだろう。(用例は省略)

#### ▽使役文の動作の主体 他動詞 ga (間接補語)

使役文の動作の主体は、共通語では他動詞で二格をとり、自動詞では二格とともにヲ格でもあらわれる。それに類似して、他動詞では与格相当の ga 格、自動詞では対格に相当する φ 格であらわれている。これも相補分布である可能性がある。

taro: [ga h!aka[smaqtaru. 太郎に書かせた。 ga 格

taro: [p!aras[maqtaru. 太郎を走らせた。対格=直接補語の φ 格

#### ▽動詞の目的形 ~N (状況語)

動詞の目的形は格語形ではなく動詞の語形のひとつであるが、その形式は方言により、共通語の二格相当であったりへ格相当であったりする。しかし、この方言ではここでとりあげた与格相当のどの格形式ともことなる~Nの形式をとっている。(用例は省略)

## 4. おわりに

調査初年度の波照間島方言の印象であるが、今回とりあげた名詞の与格相当の格語形は、これまでに調査した西表祖納方言にくらべて種類が多く、また、動詞の語形もかなり豊かで複雑におもわれた。次年度の調査で形態論の概要を明らかにしたい。

## 参考文献

- ・ Pellard, Thomas (2015) “The linguistic archaeology of the Ryukyu Islands,” in Heinrich, Patrick, Shinsho Miyara, and Michinori Shimoji eds. Handbook of the Ryukyuan languages -History, structure, and use, Vol.11 of Handbook of Japanese Language and Linguistics, Berlin/Boston/Munich: Mouton de Gruyter, pp.13-37.
- ・ パッパラルド, ジュゼッペ (2012)「波照間方言 2 変種の音響音声学的比較」,『音声研究』, 第16巻, 第1号, 6-15頁.
- ・ 麻生玲子・小川晋史 (2016)「南琉球八重山語波照間方言の三型アクセント」,『言語研究』, 第150巻, 87-115頁.
- ・ 麻生玲子 (2020)「南琉球八重山語波照間方言の文法」(博士論文)

竹富町波照間 2019年11月30日調査 阿利盛八（アリセイハチ）（1934.1.20生）、波照間南集落、85歳M	
1 本土の人もヘチマを食べるかな？	jamatu[nu] p!ituN nabi[ra] hoNka[ja]:?
2 我が家では、夏になったら、ニガウリを毎日食べている。	ba]hija: na[ci] narucja(r)a go:[ja:] me:ni[ci] hebirjaru.
3 今日の朝、何をゾ食べたの？	kju:nu slitumuci nu:[ru] hoq[ta]ra?
4 冬瓜を食べた。	s!ipuriN] hoqtaru.
5 このサツマイモは誰がゾ食べるの？	k!unu] aga[n<ia>] taNdu heba?
6 姉さんがゾ食べる。私はたべない。	amaNdu] ho:. ba[na] hanu.
7 お前がゾ天ぶらを全部食べただろう？	daNdu [siNpura gas!i]ta hja:[sa]:.
8 私は一つ食べた。	bana: [p!ituqsiru] hjaqta[ru].
9 残ったものは、全部母さんがゾ食べた。	noga[rja]ru mun<ua> [gas!i]ta a[b<oa>Ndu] hjaru.
10 お前もバナナを食べるだろう？	daN ba[sa]na[ri] ho:na:?
11 父さんもバナナ食べるかなあ。	ijaN] ba[sa]na[ri] hoNka[ja]:?
12 父さんも食べるだろう。	ijaN] ho: p!azid<o[a>/p!azido[:re]:.
13 誰がゾお菓子を食べたのかなあ。	taNdu [ko:si] ho:qtaqka[ja]:?
14 お菓子は弟妹たちがゾ食べただろう。	ko:s<ia> [ututuN]daNdu [hjaru] p!azido[:re]:.
15 そこに置いた魚は誰がゾ食べたの？	nau s!ikjaqtaru] ju:ja taNdu [hjabal]:?
16 犬がゾ食べたのかな。	inuNdu] hjaqkaja:?
17 隣の猫が食べたはずよ。	]t!unarinu majunu hjaru p!azi.
18 食べるなっていったのに、食べたのか？	hoN]naq[te] in<ia>qta munu [hja:s!i]ta?
19 兄さんがゾ食べたから、私も食べた。	sjamaNdu] he:[ki] ba[nuN] hjaru.
20 兄さんがゾ食べたの？ 本当なの？	sjamaNdu] hjaqka[ja]:? [huNto]na:?
21 兄さんは三つ食べた。	sjama: mi:q]si hja[wa]:.
22 おまえも食べただろう？ おまえも見ただろう？	amaN] hja[Nsa]:? [daN] miq[ta]sa:?
23 昨日食べたソバはおいしかった。	]s!inu hoqtaru suba: mahaqtaN.
24 今日一緒に食べよう。	kju:N] ma:[zi] ha:.
25 今日は石垣に食べに行こう。	kjo:a isas!imaqci] heN N[ga]:.
26 ご飯を食べながらテレビを見るな。	mu]nu heNcana [tere]bi] miru[na.
27 ご飯を食べながらテレビを見るな。	mu]nu heNci [tere]bi] miru[na.
28 片付けるから、急いで食べる。	k!atas[ki]jagara [s!iku] he:.

29	ぜんぶ食べるまで待て。	gas!ita] ho:kami maci.
30	お前が食べきれないなら、俺が食べよう。	da:] he:s!a[naq]cjara [ba:] hoN.
31	これは私が食べる。	k!ur<ia> [ba:] hoN.
32	食べるならぜんぶ食べろ。残すくらいなら食べるな。	ho:mujaqcjara [gas!i]ta he:.noga[su s!ukueq]cja [hoN]na.
33	明日食べるコメを買ってきてくれ。	aqca] ho: mii: ke:[ki] hiri.
34	おじいさんはご飯を食べて薬を飲んだか。	buja:] mu[nu] he:s!ita: [h!uciri] nu[mja]na:?
35	おばあさんは夕ご飯を食べて寝た。	pa:] jumu[ne:] he:s!ita nuff[fa]ru.
36	兄さんは昼飯を食べてから畑に行った。	sjama:] p!ismaru mu[nu] he:s!ita: [p!iteci Ngja]ru.
37	明日もサシミを食べるから、買って来い。	acaN] nama[si] hoegara ke: [ku:.
38	今日食べたから、明日は食べなくてもいい。	kju:] hja[e]gara [aqca:] ha[na]baN [misjaN.
39	これを食べたら元気になるよ。	k!uri ho[cja]ra [kuNki skuN]do:.
40	これを食べたらよく眠れる。	k!uri hoq[cja]ra ju[:] nuffairuN.
41	これを食べても元気がでないよ。	k!uri hebaN kuNki N[dunu]d<o[a>.
42	その豆腐は腐っているから食べるな。	k!unu [to:fu fcaradai]gara ho:na.
43	お湯は沸かしたから、沸かさなくてもいい。	jua f[ke:]gara f[kahaN]baN mi[sjaN.
44	この子は肉はよく食べるのに野菜は食べない。	k!unu uq[tama] ni[kua] hoNs[ka] ja[seal] hanu.
45	これを食べたのに眠れなかった。	k!uri] hjaq[taska] nuffa[ruN]taN/nuffaru[na]taN.
46	本土の人はヘチマは食べない。	jama[tu]p!it<ua> nabi[ra:] hanuN.
47	姉さんがゾ食べなかった。	amaNdu] ha[naq]taru.
48	腹いっぱいだから(ゾ)食べないんだ。	baq[ta] Nciki([ru]) ha[na]ru.
49	姉は食べなかった。	ama:] hanaqtaN.
50	父さんはこれを食べないだろう。	ija:] uri hanuNd<o[a>.hanu] p!azid<o[a>.
51	姉さんは食べなかっただろう。	ama:] ha[naq]ta p!azid<o[a>.
52	本土の人はヘチマを食べないかな？	jamatu[p!it<ua>] nabira: hanuqka[ja]:?
53	食べろっていったのに、食べなかったのか？	he:q[te] en<ia>taska hanasita:?
54	何故ゾ、ヤギ汁を食べないの？	nu:qtaru] p!imizanu su: ha[na]ba:?
55	だれがゾこれを食べなかったの？	ta:Ndu uri [hanaq]tara?
56	お前はヤギ汁を食べないんだらう？(>うん、食べない。)	da: p!imizanu [su:] hanu[sa]:? > a[i] hanu.
57	お前はお粥を食べなかったんだらう？	da: okaju hanaqtasa]:?

58	父さんはヤギ汁を食べないかなあ。	ija: p!imizanu su:] Ngio[raN]ka[ja]:?(敬語) /hanuq[kaja]:?
59	何故ゾ、お菓子を食べなかったのかなあ。	nu:qtaru] ko:[si hanaq]taqka[ja]:?
60	誰も食べないのに芋を煮た。	ta:N] hanu munu a[gaN] baga[hjas!i]ta.
61	これを食べなかったけどよく眠れた。	k!uri [hana]tas[ka ju:] nuffa[raq]taN.
62	誰も食べない物は買うな。	taN] hanu muna: [ko:]na.
63	ぜんぶ食べないけど、片づけられた。	gas!ita] hanus[ka] uskuma[:s!i]ta.
64	雑炊を食べなかった子供にはお菓子を食べさせない。	zo:si: hanaqta uqtamaga ko:si haha]nu.
65	おじいさんはご飯を食べないで薬を飲んだ。	buja:] mu[nu] hanusku[ci fciri] numja]ru.
66	明日はサシミを食べないから、買って来るな。	aqca:] namasu ha[nuN]gara ke: [k!una:].
67	昨日食べないつもりだったけど今日食べるよ。	snu] hanu [sja:mi]jaqtas[ka] kj<oa> hoNdo[:.
68	食べないなら買うな。	ha[naq]cjara ko:na.
69	これを食べなかったら元気が出ないよ。	k!uri hanaqcjara kuNki skanu]d<o[a>.
70	私は食べなくても眠れる。	ba[na:] ha[na]baN nuffairuN.
71	おまえが食べないなら、ご飯は炊かないよ。(食事の支度をしないよ。)	da: ha[na]cjara zo:s!iki [saN]d<oa>.
72	おまえが食べないなら、ヤギ汁は残るだろう。	da: ha[na]cjara p!imizanu su: no:ga]ruN]do:.
73	私が食べない前に無くなっていた。	ba:] hanu [kami] ne[na]sas!ita.
竹富町波照間 2019年10月19日調査 阿利盛八(アリセイハチ)(1934.1.20生)、波照間南集落、85歳M		
74	あしたは姉さんがゾ東京から来る。	aqca: [amaNdu] to:kjo:gara [kuqcjo:]/[kuNdo:.
75	姉さんはいつ来るの。(明日、来る。)	ama: [i]cu [kuN]ka[ja]:? / ama: i]cudu [kiba?
76	姉さんの夫も来るの?(>うん、来るよ。)	amanu] butuN [ku]na? > u]N [ku:N.
77	姉さんも来るから、孫も来るだろう。	amaN ku]legara [ma:]faN [kuNsa]:.
78	孫たちが来たら、いっしょに遊ぼう。	ma:]fa: [k!ucja]: ma:zi as!ipa:.
79	兄さんはたぶん来ないだろう。	sjama: nuq]siN [kunu]du]re]:.
80	なぜゾ来ないの。	ne:[kiru(qte) ku]naqkaja:.
81	忙しいからゾ、来ないんだ。	paNtaq]sa(:)[gi(:)ru ku]naru.
82	姉さんたちが来るなら、ご馳走をつくっておこう。	amaima k!ucjara masamunu] skuris[ka/skoris]ko.
83	おじさんも来ないの?	buza]maN kunu]na?
84	おじさんは仕事があるからゾ、来ない。	buza]ma:] sigutunu [arikiru kuna]ru.
85	おじさんも来ないから、おばさんも来ない。	buza]maN kunui]gara bu]baN kunu.

86	姉さんたちは港から車で来るんだ。	amai]ma: [minatuga]ra [kurumasi kuN.
87	姉さんたちが来ないうちに家の中を掃除しよう。	amaima kunukami] hi[nu] naga [so:zi]sa:.
88	孫たちが来たから、一緒に遊んだ。	fa:[ma:nu ki:ki] ma:zi as!ipuqtaru.
89	姉さんたちは飛行機で来て、また船で帰った。	amaima: hiko:kiga]ra [ki:s!i]ta[ki ma]ta [fnisi kairja]wa[.
90	いとこたちに来いっていったけど、来なかったのか？	buifaNda [ku:]te jaqtara [kuna]is!ita?
91	いとは島に来てから、仕事を探すそうだよ。	buifa]:[! s!imaci ki:s!i]taki sigutu t!umiN[te]nua./t!umiNcju.
92	あさっては、家にいないから、来るな。	astua] hina mono]ju]gara [ku]najo[:.
93	今日は来なくてもいいって言ったのに、来たのか？	kjuaqte [kuna]ba misjaNte [e]n<ea>taska [kja]ba?
94	なぜ、来たの。	nu:ta kja]ba?
95	用事があったから、来たんだよ。	ju:zi[nu] ariki [kja]ru.
96	昨日は来なかったんだろう？	s!inu]a [kunaq]ta[sa]:.
97	なぜ来なかったの？	nu:]ta [kunata]ra?
98	忙しかったし、頭が痛かったからゾ、来なかった。	paNtaqsatu amaskuru] jamikiru [kunaq]ta]ru.
99	忙しかったし、頭が痛かったからゾ、来なかった。	paNtaqsatu amaskuru] jami[ki kunaq]ta]ru.
100	しあさっては君も来るだろう？	astu] ju:gaqte da:N [ku(:)]na:?
101	しあさっては君も来るだろう？	astu] ju:ga[ja] da:N [ku(:)]na:?
102	タカは今年は来なかったねえ。	t!aka:] k!utusia [kuna]is!ita:.
103	何故、来なかったのかなあ。	nu:]ta [ku]naqkaja:?
104	今年は風が吹いたからゾ、来なかったんだ。	k!utusia k!acinu h!uki[kiru] kunaru.
105	今年は風が吹いたからゾ、来なかったんだ。	k!utusia k!acinu h!uki[kiru] kunaqta.
106	来年は来るかなあ。	eN[n<ia> [kuN]kaja:.
107	タカは来ないかなあ。	t!aka: [kunuq]kaja:.
108	タカは去年は来たよ。	t!aka: [k!ucun<ia> kja]taN.
109	そうか。来たんだ。	e:saqcja]: [kja]N[saqcja]:.
110	いつ来たのかなあ。	ici kja]Nqka[ja]:.
111	だったら、今年は、来ないけど、来年は来るかわからない。	esja:] k!utusia [kunuska] eN[ni]a [kuN]du:[N] bagara[nu].
112	今年は来なかったけど、来年は来るの？	k!utusia [kunaqtaska] eN[niacja] kuN[sa:qcja]:.
113	今年は来なかったけど、来年は来るかなあ？	k!utusia [kunaqtaska] e[n<ia> [kuN]kaja:.
114	むかしは、来ない年もあった。	muga[sia [kunu t!usiN aqtaN.

115	郵便屋がゾ来たよ。	ju:biN[du [kja]ru.
116	本当に来たの？	huNtu:te kjaN]na:.
117	郵便屋が来たから、手紙があるんだよ。	ju:biN[nu ki:ki sigami aN]do:.
118	だれも来ないのに(店を)開けてあるか。	taN ku]nu munu agas!i[kjaba]:.
119	人が来るなら(店を)開ける。	p!itu [k!ucjaqta muN]te agau]wa:.
120	人が来ないなら(店を)閉めるよ。	p!itu [kuna]cja [s!imi]suq]te:.
121	夕方には人が来るだろう。	june[N] naqcja: p!itu [ku:] p!aci.
122	今から来る人には安く買わせる(売る)。	manara ku:] p!itua jaq[sasi] kas!imiru.
123	何人、来たの？	utari [kjaq]tara:?
124	私が言った通り、来ただろう？	ba [eN]ta turi [kja]uwa:.
125	うん、昨日、来た人がゾ今日も来た。	N]: s!inu [kjaq]ta p!ituNdu [kju:N kja]ru.
126	夜になったら誰も来なかったから、閉めた。	ju]ru] na[riki ta:]N kunaqtara [simaqtaru.
127	夜になったら誰も来なかったから、閉めた。	ju]ru] naqtara [ta:]N kunaki [simaqtaru.
128	以前から安く買わせたら(売ったら)、人はもっと来たのに。	me:]gara] jaq[sasi] kas!imaba p!it<ua> [ma:biN k!uta] munu.
129	安く買わせれば(売れば)、もっと来たかな。	jaq[sasi] kas!imaba [ma:bi k!utaq]ka]ja:.
130	安く買わせれば(売れば)、もっと来たのに。	jaq[sasi] kas!imaba [ma:bi k!uta] munu.
131	うん、もう少しは人が来たのに。	N]: ma:]bil]ja: p!ituN [k!uta] munu.
132	人が来ない店はつぶれる。	p!itu]nu [kunu] macija: [turaq]siru.
133	あの子は学校に行かないで、家にゾいる。	unu u[tama:] gakuci NgaNsku]ci] hi[naru] bu.
134	学校に行きながら、友だちの家に行った。	kju] gakuci Ng]N]cana] dusinu ja]ci] Ngjaqtaru.
135	学校に来ながら、友だちの家に行った。	kju] gakuci [kiN]cana] dusinu ja]ci] Ngjaqtaru.
136	友だちを連れて学校に來い。	dusi so:]ri] gakuci [kuba]:.
137	島に来なければ、島のいいところはわからないよ。	s!imaci kuna]cjara [s!imanu] zo:]tunu] t!ukurua bagara[N]d<uwa>:.
138	船が来るまで港で待て。	fni ku: kami] minu]nagi] maci]ba:.
139	バスが来なかったらタクシーに乗ろう。	basu kuna]cjara [takusi:naga] nuru [ma]:.
140	島に来たけど雨ばかり降っていた。	s!imaci kjaN]ska ami]ga]gi [ffis!i]ta [ma]:.
141	来年またここに来よう。	eN[n<iu>] mata [muga ko:.
142	私たちが来れば、太郎も来るって言っていたよ。	be]ma k!ucjara taro:]N [kuNte Nta]ru.
143	私たちが来れば、太郎も来るって言っていたよ。	be]ma k!ucjara taro:]N [kuNte N]taN.

144	来年来なかったら、再来年いっしょに来よう。	e[:N kuna]cjara ma:[mi:ciN] ma:zi [ku]jo:.
145	魚をたくさん釣って楽しかったから、また来年も来よう。	ju: [Ngo]bi ho[he: sanisjaq[ta]gara/sanisja[iki] maqta eN[n<iu>N ko:ra]:.
146	あいつは友達が来ても、お茶も出さない。	unu za: dusi [kibaN sataN dahanu.
147	あいつは友達が来ても、お茶も出さない。	unu za[ja] dusi [kibaN sataN dahanu.
148	あいつは人が来てもお茶さえ出さないのか？	unu za:[te] p!itunu [kibaN sataN dahanu]na.
149	だからゾ、だれも来なかっただろう。	e:kiru ta]N [ku]naqta[ba]:.
150	おまえ昨日来ただろう？（>うん、来たよ。）	da[te] s!inu [kja]ta[s]a:?? > e:ki [kj<a]u>wa:.
151	明日は来ないだろう？（>畑に行くから来ない。）	aqca: kunusa]:? > p!iteci] Ngugara [kunaru.
152	子どもが来ない前に お菓子を用意しておこう。	uq[tamaN]zi [kunu kami ko:si] zjuNbi s[ka.
153	子どもが来ない前に お菓子を用意しておこう。	uq[tamaN]zi [kunu kami ko:si] zjuNbi si:s[ka.
154	子どもが来ない前に お菓子を作っておこう。	uq[tamaN]zi [kunu kami ko:si] skuris[ka.
竹富町波照間 2020年1月11日調査 田盛吉(タモリヨシ)(1939.9.10生)波照間北集落、80歳F		
155	今日は何をゾ煮るの？	kju:ja nu:]a[ru] m[busiba]:?
156	今日は、昨日掘った大根を煮る。	kju:ja de:]gu[ni] mbusuN.
157	この鍋で煮るの？	k!unu] nabi[si] mbusu]na:?
158	うん、小さいからその鍋では煮られない。	a:[i] isja[ga:]gara [k!unu] nabi[sija] mbusaru[nu.
159	どうやってゾたくさんの大根を煮るのかなあ。	ne:q[ci]ru gwa:[bi]nu [de:]gu[ni] mbusu]ka[ja:?
160	今日のかぼちゃを煮ないの？	kju:ja kabocja mbu]sa[nu]na:?
161	昨日煮たから、今日は煮ない。	snu mbusata]gara [kju:ja mbusanu.
162	冷蔵庫に豚肉があるけど、何故ゾ煮ないの？	re:zo:ko]na [uwanu niku]N [aruNska] neq[ci]ru [mbusana]ba:?
163	きのう豚肉だったから、今日は豚肉は煮ないだろう？	snu uwanu nikujaqta]gara [kju:ja uwanu] nikuja [mbusa]nu?
164	大根も一緒に入れて煮ないかなあ。	de:]gu[niN] ma:zi ira[ci mbusaN]ka[ja:.
165	ゴボウは煮ないだろう。	gu]bo[N]ja mbusanu] p!aci]jo:.
166	そうか、好きじゃないから、ゴボウは煮ないんだ。	e:]na [he]bo[henu]gara [gu]bo[N]ja mbusanu]ra:.
167	今日煮ない豚肉は冷蔵庫に入れておけ。	kju: mbusanu uwanu ni]kuja [re:zo:ko]naga [i]ra[s]iki.
168	今日の魚は誰がゾ煮たの？	kju:nu ju:]ja taNdu [mbu]sja]ba:?
169	その魚は母さんがゾ煮たんだよ。私じゃないよ。	u]nu [ju:]ja [aboNdu mbusja]ta[ro: ]ba: [aranu.
170	母さんがゾ煮たんだらう？	aboNdu mbu]sjata]sa:?
171	母さんがゾ煮た魚はおいしかったねえ。	aboNdu mbusjaru ju:]ja [mahataN]ra]:.

172	豚肉が冷蔵庫にあるけど、何故ゾ豚肉は煮なかったの？	uwanu ni]kuja [re:zo:]ko[na [aNsuka] ne:[ci]ru [uwanu] niku]ja mbusaNtara?
173	鶏肉がゾ食べたいから、鶏肉を煮た。	koqka[nu ni]kuNdu [he]boha[ki] koqkanu [ni]ku mbusjataN.
174	鶏肉は煮たけど、豚肉は煮なかった。	koqka[nu ni]ku]ja mbusjataska] uwa[nu ni]ku]ja mbusanataN.
175	昨日も豚肉を煮たから、今日は煮なかったんだろう？	snuN] uwa[nu ni]ku [mbusjataga]ra kju:]ja [mbusanaq]ta[sɑ:]?
176	一昨日も豚肉だったから、今日は煮なかったんだ。	snu butuciN uwanu] ni[kuj]ri[ki kju:]ja mbusana]taN.
177	おばあさんがゾ煮ないなら誰がゾ煮るの？	pa:Ndu mbusana]cja [ta:N]du [mbusu:]?
178	姉さんがゾ煮るだろう。	amaNdu mbusu] p!aci.
179	お前も煮るだろう？	da:]N [mbusu]N[sɑ:]?
180	何故、豚肉は煮なかったのかなあ。	neq[ci uwanu ni]ku]ja mbusaNta]ka]ja:?
181	誰がゾ、カボチャを煮たのかなあ。	ta:N]du kabucja [mbusjata]ka]ja:?
182	そのカボチャは母さんがゾ煮ただろう。	u]nu kabucja [aboNdu mbusja p!a]ci.
183	姉さんは煮なかっただろう。	a]ma]ja: mbusaNta p!aci.
184	母さんがゾ煮るカボチャは甘くておいしい。	aboNdu mbusu ka]bocja [mahaN
185	母さんがゾ煮れば、みんな残さず食べる。	aboNdu mbuqsja mu[:]ru nugu[sɑN]skuq[ci] ho:N.
186	鍋にあったトウガンは誰が煮たの？	nabina aqta [s!ipuriNja] ta:Ndu mbusjata[ra:]?
187	さっき台所にいた姉さんがゾ煮ただろう。	manabi daidokorona buta amaN[du] mbusja p!aci
188	サトイモを煮ろっていったのに、煮なかったのか？	ju: mbusiq]ta [eN]tas[ka mbusanaq]taqka]ja:?
189	兄さんがゾ煮たから、私は煮なかった。	sjamaNdu mbusiki] ba:]ja mbusana]taN.
190	兄さんがゾ煮たの？ 本当なの？	sjamaNdu mbusjata munu]ja? [huNtu]na?
191	兄さんは食べきれないくらい煮た。	sjamaja he:]sanu [sj!uku] mbusjataN.
192	何故あんなにたくさん煮たのかな。	neq[ci] o:bina mbusjata]ka]ja:?
193	魚を煮ながらテレビを見るな。	ju: mbusiqcana terebi mi]ru]na.
194	ぜんぶ煮ないうちに火が消えた。	mu:]ru [mbusanu kami pi: ke]rasa.
195	ゴボウは煮るなっていったのに、煮たのか？	gu]bo[Nja mbusunaq]ta [eN]tas[ka mbusjata]na:?
196	誰も煮ないのに魚を買ってきた。	ta:]N [mbusanuska ju]: [ke: k!utara.
197	魚を煮ないで、何を煮るの。	ju]: [mbusanuskuci nu: mbusatara:]?
198	そんなに煮なかったのに柔らかくなっている。	esusku] mbusanaq]tas[ka] ja[ra]jarasi nari bi[rja]ru.
199	タコは煮る前に塩で揉んでから煮ると柔らかくなる。	t!akuja mbusu] me:[na] ma:su[si] mumis!ita mbuscja ja[ra]jarasi naruN.
200	魚を煮ないなら鍋をむこうに置いておけ。	ju: mbusana]cja [nabi haga na]i[s!iki.

201	母さんもそうやって煮ただろう？ 見ていただろう？	aboN [eq]ci mbusjata[sɑ:]? [mirja]ta[sɑ:]?
202	今日は豚肉は煮ないから、買って来るな。	kju:ja uwanu ni]ku]ja mbusaN]gara [ke]: [kuna.
203	昨日は、煮なかったから、今日は煮よう。	snuja mbusaNta]gara [kju:ja mbusuN.
204	大根は、肉も入れて煮なければ美味しくない。	de:guni]ja] ni]kuN] iraq]ci mbusana]cja [ma:ku]ne:]nu.
205	おばあさんがゾ煮なかったら誰も煮ないだろう。	pa:Ndu mbusana]cja [ta:]N [mbusanu p!aci.
206	おばあさんがゾ煮ないなら、私たち二人で一緒に煮よう。	pa:Ndu mbusana]cja be: ftari]si ma:]zi [mbusana]cja.
207	今日はおまえがゾ煮ろ。	kju:ja] daNdu [mbusiba.
208	お前がゾ煮ないなら、俺がゾ煮よう。	daNdu mbusana]cja baNdu mbusa.
209	これは私がゾ煮る。煮よう。	k!urja [baNdu mbusa:.
210	私がゾ魚を煮たのに誰も食べなかった。	baN]du ju]: [mbusjataska [ta:]N hanataN.
211	魚をおまえも自分で煮てみろ。	ju: da:]N du:]si] mbusi miriba.
212	魚を全部煮るまで待っていてくれ。	ju]: [mu:]ru [mbu]subagiN ma]ci] bi]rja]ba.
213	全部煮なくても家族の分はあるよ。	mu:]ru mbusa]na]baN mu:]runu k!umata aN.
214	魚を煮るなら、塩を少し入れろ。	ju]: [mbuscja] ma:]su(N?) [be:]bi iriri.
215	大根を煮てから、味噌汁も作った。	de:guni mbuscja mi]sju]qsuNqsu/mi]suzu]ru] skurjataN.
216	父さんは自分で魚を煮て酔の物を作った。	ija:ja du:]si t!urikjaru ju]: [mbusi sunumunu skurjataN.
217	明日はゴボウを煮るから、買って来い。	aca: gu]bo]N mbusu]gara [ke]: [ku:.
218	肉とゴボウを煮たら、アクがたくさん出る。	niku]tu gu]bo]N mbus!]c]jara [akuN] gwa:]bi]N NziruN.
219	弟がゾ魚を煮ても、だれも食べない。	ututuNdu ju]: [mbusibaN [ta:]N ha]nu.
220	その魚は腐っているから煮るな。	u]nu [ju:]ja [fcara:]gara [mbu]suna.
221	大根はよく煮るのに冬瓜はあまり煮ない。	de:gu]ni]ja] zju:]bu]N mbusuNska spuriNja [e:]bagiN mbusanu.
222	全部母さんがゾ煮たんだ。	mu:]ru a]bo]N]du [mbusjataN.
223	トウガンはおばあさんがゾ煮るんだ。ほかの人は煮ない。	spuriNja pa:Ndu mbusuN.fkanu p!]tuja [mbusanu.
224	魚を煮なかった日は、そばを食べた。	ju]: [mbusaN]ta [pi]Nja soba hja]ta]ro.